

5月27日

子どもたちに絵本を紹介 絵本キャラバンが来町



上川管内剣淵町から来町した絵本キャラバンが5月27日、弟子屈小学校内の放課後児童クラブ「にこにこクラブ」を訪れました。絵本キャラバンは4トントラックの移動図書館車で、剣淵町の町民有志による「けんぶち絵本の里を創ろう会」が開催しています。絵本の楽しさを伝えることを目的に道内市町村を巡っていて、この度は当町で活動する「絵本の会おはなしはらっぱ」（笹島久美会長）が応募し実施されました。500冊の絵本から気になる絵本を選んだ児童たちは楽しそうにページをめくり、同会による絵本と紙芝居の読み聞かせもとても盛り上がりしていました。

5月27日

先輩移住者としての目線で課題解決へ 移住アドバイザー会議を開催



令和4年度の移住アドバイザー会議が5月27日、役場で行われました。会議には、萩原寛暢さん、河村晃さん、川上椋輔さん、吉田祥子さんが出席し、それぞれ登録証が交付されました。移住アドバイザーは、本町への移住を検討されている方に対し、移住後の生活などの相談対応を行うもので、実際に本町に移住をされた方が登録されています。会議では昨年度の活動報告の後、新年度の事業内容の検討と意見交換を実施。移住者ならではの目線で課題や改善点などさまざまな意見が出されました。

5月15日

弟子屈町指定名木を巡る 春の名木ツアーで魅力再認識



萩原さんのガイドを参考に観察

町が主催する「春の名木ツアー」が5月15日に行われました。一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止されていましたが、今年は町内外の11人が参加し、3年ぶりに実施されました。北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さんがガイドを務め、水郷公園周辺にある名木ヤチダモとエゾノコリンゴの2本を見学したほか、ちょうど見ごろを迎えた草花についても解説されました。参加者の皆さんは熱心に聞き入り、とてもおもしろかったと好評を博しました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけてください。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

6月5日

花いっぱいでおもてなし 花壇への植栽を実施 | 日の出自治会



日の出自治会（塩沢紀雄会長）の皆さんが6月5日、国道391号線から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。同自治会が毎年行っているもので、およそ20人が参加。約2千8百株を丁寧に植えました。この植栽は、日の出自治会、国土交通省釧路開発建設部弟子屈道路事務所、町の3者が協力するボランティア・サポート・プログラムの一環として実施され、花の苗は釧路開発建設部から支給を受けています。もうしばらくすると、きれいに咲きそろうた花が皆さんをお迎えます。

6月3日

次の世代に木を繋ごう 弟子屈町植樹祭を開催



丁寧に植樹を行う皆さん

弟子屈町植樹祭～森林（もり）は自然の貯金箱～が6月3日、摩周観光文化センター裏で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、町と緑化推進委員会（会長・徳永町長）が主催して毎年行っています。今井林業（西村義雄代表取締役）からの寄附、摩周建設事業協会（近藤明会長）から苗木の寄贈を受けました。一昨年、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止されていたため、3年ぶりの開催。今年は自治会関係者など約40人が参加し、エゾヤマザクラの苗木70本を丁寧に植樹しました。

5月25～27日

大きく育てて帰っておいで 町営牧場へ若牛が入牧



町営牧場に到着した牛たち

5月25日～27日の3日間の日程で、町内酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。家畜車で各農家から運ばれてきた牛たち。牧場へ到着すると、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。

今年は1,200頭の牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

5月18日

地域からより多くの自衛官を 自衛官募集相談員に委嘱状を交付



委嘱状を受け取った藤田さん

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月18日、役場で行われました。同相談員は、自衛官を希望する方への情報提供など、自衛官募集に

関する事務について地域での協力をお願いしている方で、任期は6月1日～令和6年5月31日の2年間。徳永町長と内山信吾自衛隊帯広地方協力本部長の連名により委嘱されます。今回委嘱されたのは藤田肇さん。今後2年間にわたって、募集広報について活動していただきます。

6月20日

子どもたちの命を守るために 園児緊急シールで備え



シールを孝子佐藤さん
シールを手に入れた園児

「園児緊急シール」が6月20日、認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）の園児の家庭から、同園へ提出されました。このシールは釧路市防災士ネットワークが作成したもので、子どもの情報をシールに書き込むことにより、災害時に自分の名前を言えない園児の命を守ることを目的としています。4月に同会に所属する町内在住の佐藤康弘さんが、認定こども園ましゅうと川湯保育園（勝山弘子園長）を通し、両園の園児の家庭へ配布。保護者が任意で情報を書き込んだ後、各園で厳重に保管されます。

6月10日

自然環境を守る大切さを学ぶ 映画鑑賞事業 | 弟子屈高校



真剣に鑑賞する生徒

弟子屈高校（加藤誠校長）で映画鑑賞事業が6月10日、同校体育館で行われました。環境再生医の活動に密着したドキュメンタリー映画「杜人（もりびと） 環境再生医 矢野智徳の挑戦」を全校生徒が鑑賞。樹木の持つ機能性成分の研究とその成果の普及に取り組む（一社）Pine Grace副代表の酒巻美子さんが、生徒たちに環境保全についての理解を深めてもらうことを目的に同校に呼び掛け、実施されました。鑑賞後、生徒からは「自然豊かな弟子屈を守るために、もっと共生について考えていけばいいと感じた」との声が聞かれました。

5月26日

誰もが自慢し誇れるまちを目指して てしかがえこまち推進協議会総会を開催



徳永町長があいさつ

てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）の定期総会が、5月26日、摩周観光文化センターで開催されました。3年ぶりに対面方式で開催された総会には、会員など約30人が出席。令和3年度事業報告では、各専門部会の活動報告やてしかが観光塾の実施などが報告されました。令和4年度事業計画案は、「弟子屈らしさ」を大切にしたいエコツーリズムを推進していく方針で、徳永会長は「新型コロナウイルス感染症により時代が変わってきている中、弟子屈の観光も変わっていかねばいけない」と話しました。

5月26日

消防力の充実・強化に貢献 令和4年春の叙勲（消防功労）伝達式を開催



勲章を胸に
勲記を手に

令和4年春の叙勲（消防功労）を町内在住の市山榮吉さんが受章し、その伝達式が5月26日、役場で行われました。この叙勲は、永年にわたり消防力の充実と強化に尽力され、消防発展に貢献した功績が高く評価されたもの。市山さんは、昭和45年に弟子屈消防団に入団し、平成30年から副団長に就任。令和3年3月までの50年と長きにわたり、防火思想の普及や団員の教育訓練の充実と大きく尽力した功績が認められ、瑞宝単光章を受章しました。式では徳永町長から勲記と勲章が伝達され、市山さんは「平成9年のラッパ隊の編成に関わったのが思い出です」と活動を振り返りました。